(一)　昭和32年6月21日（金曜日）　第2142号　常磐毎日新聞　（昭和30年1月22日 第三種郵便物認可）　夕刊　（日曜、祭日休刊）

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

本院 平市二の二九（本町通り）（午前）電話（平）三五五
分院 湯本駅前 天王崎（午後）電話（常磐）四〇一
カノウタ
吐産婦人科

被告の家庭は困っている
審理を早くおわらせて
平事件被告団陳情 五市長も促進に協力

平事件控訴審はいま仙台高裁総倉裁判長ら三判事、竹沢主任弁護人などが地裁平支部法廷に出張して審理がすすめられているが、被告団団長鈴木光雄、金明福両被告はきょう二十一日平市長諸橋久太郎氏、同市議長大泉信雄氏を訪れて「平事件の審理を一日も早く終らせるよう總倉裁判長ら関係者に陳情してほしい」と要請したが、諸橋市長らは各市長と相談して善処すると回答した。

同被告団はすでに沼田内郷、磯野、三代磐城三市長はじめ日本水素労組、常磐炭砿労組などにも協力方を要請したがいづれもこれを了承、とくに沼田市長は「都合によつては仙台まで行き直接裁判長に願い出たい」といつている。同事件は今月二十八日から三日間地裁平支部で行われる事実審理で一応結審する予定であるが「検察側はこれをさらに延期しようとしている。我々は同事件の被告であるというだけで正業につけず事件発生以来八年間苦しい生活を続けてきた。これ以上審理が長びけば百五十余人の被告とその家族は總乏のどん底にたたき落されるのでこの要請に協力してほしい」というもので。

鈴木団長の話　「同事件で八年間という長い間しばられていることは生活面に於いても苦むべきものがある。各市に協力方を申し入れ早急に終ることを願つている」

草丈の伸も上々
田植90パーセント終る
あす夏至

あす廿二日は夏至　この日を頂点に一年中で一番長かつた昼がだんだん短かくなり彼岸の中日で昼夜同じになる。五月上旬心配された〝水下足〟も今月月下旬から月はじめにかけて降りだした雨で植付も順調に進み、ツユ入り後も好天に恵まれ成育は上々、今後の天候と病虫害次第では今年もまた豊作だと農家の表情も明るい。今年の石城地方の田植は二毛作地と山間部を除き凡そ九十四%が終り草丈十五、六センチ、葉数六、七枚で平年並み。分けつも二、三本で成育も上々、病虫害はヒメハモグリバエ、二化メイ虫など散発しているが防除に万全を期しているのでたいした心配はない。

理美容試験合格者

県厚生部は二十日、本年度第一回理、美容師試験の合格者を発表したが、石城地方の合格者は次の通り、競争率は一・八倍だつた。

〔理容〕谷　松子　鈴木栄子　大塚延雄　佐藤貞雄　鈴木意美子　八島琴　森田和子　片寄喜代子　金田一男　松本栄子　須藤シヅ子　黒田次子　秋元健市　矢吹ユキ子　野口三男　増子昭　蛭田尊三　安藤和子　菅野睦子　岡部君子　鈴木則子　高井貞郎　瀬谷恵美子　芦川孝子　渡辺徳子　江尻泰子　国井郷子　鈴木利一　上遠野キクエ　猪狩浩一　山田高子　薄葉ノブ子　飯島幸子　志賀和江　渡辺みつ子　高田敬子　阿部博　中田耕一　鈴木国男　黒沢博　高橋昇一郎　若松勝男　石田吉道　江尻フミ子　牧野宮子　野崎三明　吉田美千子　鈴木いね　鯨岡文男　渡辺ユミ子　鈴木秀子　松本利昭　沢田美喜雄　遠藤道久　上田栄子　長谷川二男　根本清　遠藤徳　安藤美智子　根本雅文　渡辺照美　広田タカ子　大平爾子　知井ヒデ子　後藤ハナ子　酒井シツエ

〔美容〕門馬定子　緑川久美子　松本幸子　中村曽能　藤田美佐子　山田弘子　猪狩洋子　吉川千鶴子　芳賀公子　鈴木文子　大和田ハツエ　高野恭予　小川米子　金成礼子　金成孝子　酒井静江　時山恵子　大平不二　高橋和子　梨本美津江　松本英子　加沢恒子　田村美智子　門馬和子　吉田シメ　戸井田時子　日下栄子　猪狩キミ子　村上スミ子　高萩洋子　後藤ミユキ　横田イツ子　小堀文子　菅野カヨ子　二瓶カツ子　渡辺公平　蛭田澄子

奥田課長一行
諏察の日程など決る

既報、二十二日来平、小名浜―新潟間二級国道好間地区はじめ好間川などを視察することになつていた高木代議士、奥田建設省計画局都市建設課長、山内河川局防災長、村上道路局国道課長補佐ら一行は視察ご地元有志、県当局と懇談会を開き、ようやくすべり出した常磐総合開発の早期完成をはかることになつた。なお一行は二十三日各課の所管事項について分散視察して平駅発午後三時五十七分急行みちのく常磐線上り列車で帰京する。

高木代議士

老婆を殴り逃走
忍び込み寸前発見され

一人暮しのお婆さんが夜居を見て自宅に帰る途中、暗がりから怪漢が現われいきなり野球のバット様のもので頭、肩など数回に亘り殴りつけられ全治一週間の傷を負つた事件が四倉町に発生した。

十九日午後十一時二十分ころ四倉町本町一八駄菓子商武田よしのさん(七〇)が茶居を見て帰宅したところ、自宅の雨戸をはづして中に侵入しようとしているのを見つけたが、武田さんが帰つて来たので、何も云わずにいきなり野球用のバットで頭と肩など殴りつけ、怪漢は何も取らずに、暗ヤミに逃走した。

四倉町警部補派出所では街の不良の仕業とみて犯人を捜査している。よしのさんは二坪位の小屋に一人で住んで子供相手の駄菓子売りをして暮している。

よしのさんの話　「茶居から帰り家の角まで来たところいきなり暗がりからバット用のもので殴りつけられ昏倒したが怪漢はゆかた着の身長五尺位で二十七、八才位の男のようで、また見張していたと思われる中学生風の男も一緒に逃走した。この位の傷で殺されなくてよかつた」と昨夜を思い浮べ恐れおののきながら語つていた。

観光新聞発刊

平市観光協会では第二号観光新聞一万部を発刊した。内容は夏は平の海へと新舞子キャンプ村、海水浴場（四倉、磐城、勿来、久之浜）七夕祭などである。

無免許で民家に突込む

二十日午後三時三十分ころ常磐市栄田地内市道で勿来市植田町佐藤神尾三蔵さん所有トラック＝運転手常磐市関船迎牛乳店員後藤武さん(二九)＝は自転車をよけそこねて同地内の採炭夫紺野高二さん(三三)方へ突込み塀塀子さん(四一)は右ヒザ骨折で全治一カ月の重傷を負つた。後藤は無免許運転をしていた。

テントは一二百円
海の家は大人百円

海水浴シーズンをむかえて各地でも今年は五十七張に増やして広く貸出す。また海の家は簡易水道と平市観光課では家族連れ、団体など浴客の便を図るため、名勝新舞子松林の「海の家」はじめ沼ノ内遊機、豊間、合機の四地区に脱衣場を建設、七月一日の海開きから一般に開放することになつた。このほかキャンプ用としてのテント貸出す。また海の家は娯楽室、風呂などのほか、炊事用具を無料貸出すなど避暑客にサービスすることになつた。なおこれら諸施設の使用料が次の通り決つた。（カツコ内は日帰り料金）

なお希望者は市観光課か海の家（電四三一五番）へ申し込むこと。

「海の家」▽大人一〇〇（五〇）▽小人三〇（二〇）▽高校生以上七〇（四〇）▽小中学生五〇（三〇）▽一般団体（高校生以上）五〇（三〇）▽学生五〇（二〇）▽居室（六畳間）三〇〇（二〇〇）▽毛布一枚三〇▽布団一組七〇

22日 新装開店

女店員募集
25才以下の方通勤
未経験者可
……粗景進呈……
スタンドバー モネ
平二（公会堂通り）

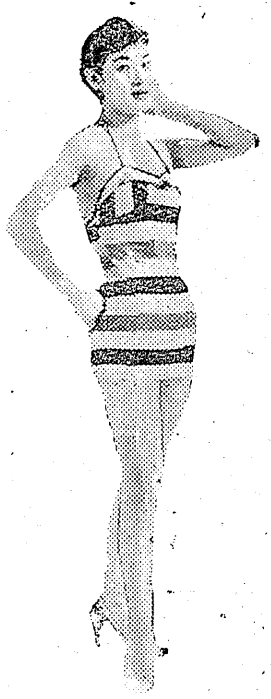
ふとい奴だとお叱りもなく

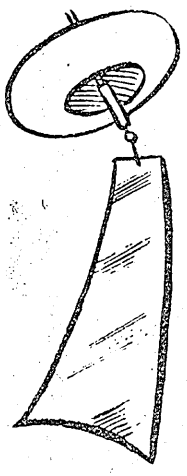
太いうなぎを選んで出すため十円値上げさせて頂いたら丼は、お叱りがないどころか却つて好評ですので、食堂の全員ホツトひといき！

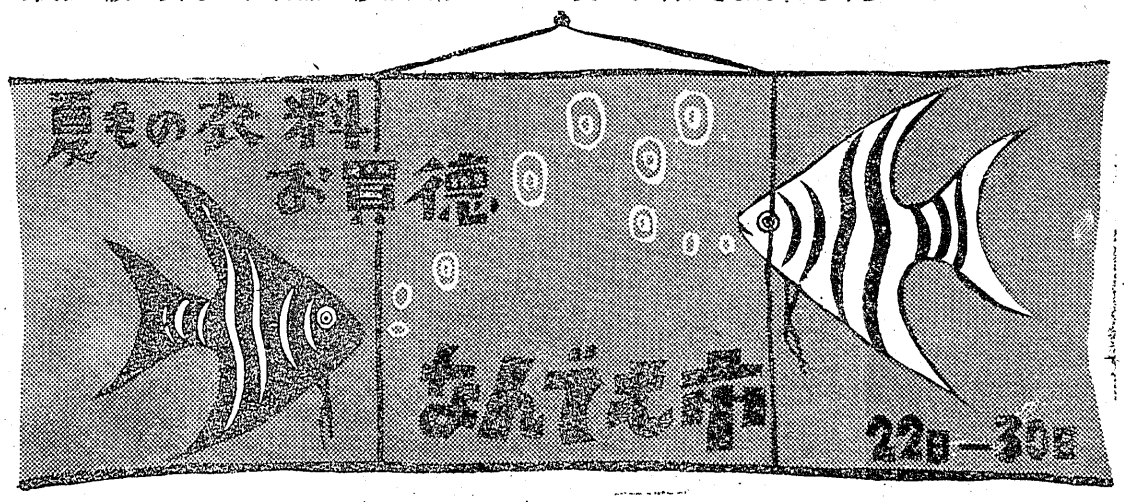
○うなぎ丼　九〇円
○あんみつ　三〇円
○キリン生ビール　一二〇円
土曜特売　鰹刺身一人前一五円

越藤　小名浜平市

盛夏に魅けて鈴藤が放つ買もの衣料品の破格大奉仕！この夏の衣料は「なんでも市」でお見逃しなく!!







受けて便利 贈つて重宝　鈴藤の「商品券」

◎紳士服ズボン市　◎ゆかた帯単市
◎婦人ワンピースブラウスの市　◎パラソル海水着市
◎お子様ワンピース市　◎男子婦人肌着市
◎プリント服地の市　◎かやとホロかやの市

【特設特売場】
婦人スイトメリヤス……60円
丸首メリヤス……60円
三つ桃1万番キヤラコ……70円
40双糸ブロード白生地36吋巾…85円
MKプリント地1ヤール……50円
婦人柄物ブラウス……250円
紬毛トロピカル紳士ズボン…1、500円

衣料品のデパート
鈴藤
平3 TEL 1654

（2）

熊狩り

アイヌの熊狩りはいろいろな方法で行われますが、たいていはアマツポという仕掛弓を用いるかまたは近くへ忍びよつて毒矢を射かけます。毒はおもにトリカブトという草の根から採りどんな猛獣でも五分乃至十分くらいで倒すことができます。

もし親熊を倒したとき附近に仔熊を見つけたればそれを捨てやることになつていたそうです。獣の体にささつている矢を見ただけでそれが何処のアイヌのものか解るというのは、矢に刻みこまれた彫刻で見わけるのだそうです。

昔のアイヌには文字というものがなかつたから、文字のかわりに彫刻がたいへん役に立つたわけですが、伝説などは記しておけませんから、口から口へと伝承されて来たのだそうです。

それからこよみなどのなかつた時代は、

一月を　芭蕉なが月
二月を　鳥がなく月
三月を　草の根を掘り始める月
四月を　草の根を多くほる月
五月を　はまなすを採りはじめる月

などとしていたそうです。はまなすは、着物などの染料に使つたものです。（つづく）

帰り、自分の子供のように大事に育て、二才か三才になるとこれを殺して熊まつりをするのです。

昔のアイヌは非常に義理が固く、たとえば十勝万面のアイヌに射たれて手負になつた熊や鹿が、石狩アイヌの領分に逃込んで倒れているのを見つけたとしたら、皮や肉は石狩アイヌのものにするが、その頭だけは、どんなに遠いところへでもとどけ

平市民管絃楽団

30日公会堂で演奏会

平市民管絃楽団の第三回定期演奏会は三十日午後二時から平市公会堂で開かれる、入場料は大人八十円、学生五十円、演奏曲はメンデルスゾーンの結婚行進曲はじめロツシーニの歌劇セビリアの理髪師ボアエルデユーの喜歌劇バグダツトの大守、シユーベルトの交響曲第八番未完成、フロート喜歌劇マルタ、ヨハンシユトラウスの円舞曲芸術家の生涯、ハイドンの交響曲百番軍隊行進曲。

湯本駅前の拡張工事

常磐市ではかねて懸案中だつた同市駅前の整備上このほど沿道に住む市民の移転、補償問題も解決したので、来たる八日から着工することになつた。

この計画によると湯本駅前広場は横八十メートル、縦三十メートル面積約三千平方メートルになり、現在の約四倍の広さになる。また同駅前から旧国道に至る長さ四十五メートルの県道は巾十八メートル（現在九メートル）に旧国道は南へ三百メートルにわたり広げられる。この拡張工事のため常磐交通湯本車庫の一角が取払われ、磐城通迄、常磐タクシーの街並みと旧国道に沿う山手の店舗は後退することになつている。

常磐市の都市整備計画は二十九年に実施され三十一年度末までに完成する予定だつたが、附近の品川白煉瓦湯本工場敷地問題や立退きを余儀なくされる市民の移転先に不満の声があつて難行していたもの。しかしこの問題も解決し市民の移転先として建てられている鉄筋コンクリート三階建の住宅も近く完成するこの拡張工事は総工費四千三百万円で今年度の工事として四百五十万円をみつもり八月中駅前道路の拡張工事が初められる。そして三十四年度中に全工事が完成する時は見違える様な都市が出来あがるものと市民のかんしんがよせられている。

夏のポスター完成

平観光協会、水鉄管理局では海水浴は石城七浜へと今月末にキヤラバン隊をくり出して誘客に務めることになつたが、これとあわせてポスター五百枚、チラシ一万二千枚を作成して早くも誘致合戦に入つた。また平市当局でもこれに負けじと海水浴は平の海へと七月一日の海開きをまえに宣伝ポスターの原案を練つていたが、このほど黒地に赤い海水着を着た美女が招

今年は梅雨明けが早いとあつて

今年は梅雨明けが早いとあつて新舞子海の家、キヤンプ村の整備も大部分終え、二十日過ぎには出来上るポスターを常磐線沿線各市町村、駅に配布、宣伝に乗出すことになつている。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
17:00 子供ニュース
17:15 一丁目一番地
17:30 民謡のしおり
17:45 花の星座
18:00 演芸
18:15 捕物シリーズ
18:45 社会展望
19:00 放送劇

◆ラジオ福島
18:00 トニーの童話
18:15 赤胴鈴之助
18:30 永遠に答えず
18:35 音楽の小箱
18:50 録音ニュース
19:00 中合アワー
19:15 エンゼルタイム
19:30 素人歌合戦
19:50 スイートメロディ
20:00 アベツク艶演会
20:30 安川お好み演芸会
21:00 名作アルバム
21:30 右門捕物帳
22:00 今日のスポーツから
22:15 時事解説

今晩の映画

▼平文化ニュース　廿三日マデ
ニュース
マンガ
本州の屋根
母親学級啓蒙記

▼世界館　廿五日迄　電英
18:00 日本橋
20:00 月形半平太

▼東映劇場　廿五日迄　電会
17:30 さけぶ雷鳥
20:00 殿さま猫

▼平館　廿五日迄　電四六
18:00 折鶴さんど笠
20:00 東京暮色

▼民劇　廿一日迄　電一三三
17:00 哀愁の街に霧が降る
20:30 東京の人よさようなら
21:16 あの子が泣いてる波止場

▼ひかり座　廿四日迄　電一三六
17:30 ジヤングルと文明
20:15 明治天皇と日露大戦争

▼聚楽館　廿四日迄　電四五
20:00 のるかそるか
20:30 サンチヤゴ

ナイトシヨウ

▼東映劇場　二十一日マデ
10:10 最後の突撃

▼ひかり座　二十三日マデ
10:30 愛慾の港

▼聚楽館　二十三日マデ
10:05 ダイヤルMを廻せ

新装開店
◇入浴随時◇
ご商談に！ご会合に！
是非お気軽にご利用下さいませ
旅館 うた
平市白銀町（世界館通り）
TEL638

☆ナイトシヨウ☆
22日―24日
野女ヤスカラ
奔放な魅力をたゝえる熱帯の乙女
秘境「緑の森」に咲く灼熱の恋
演 リカルド・モンタルバン
主 アリアドナ・ウエルチル
ビクトル・パラ
上映10時10分 ￥40
東映

「雪国」か「あらくれ」か本年度ベスト・ワンをねらう文芸大作!!
あらくれ
男に求め、男に失望しながらなお、嵐の人生に幸せを掴もうとするあらくれ女！
監督 成瀬巳喜男
脚色 水木洋子
風俗考証 木村荘八
☆優秀映画鑑賞推薦
☆東京都教育委員会選定
高峰秀子
森雅之
上原謙
加東大介
志村喬
新しい性モラルを描く異色文芸巨篇
ひかげの花
香川京子
淡路恵子
山田五十鈴
監督 松林宗恵
成人向指定映画
22日より（11日間）
民劇

（センスのある商品を品揃する様懸命の努力をしております）

第四回 大黒屋 開催記念 特別奉仕
4日間
金 21日　土 22日　日 23日　月 24日

当店と大黒屋会
私共大黒屋を親子の様にたえず心からの御指導御後援下さる関東関西の選ばれた有力問屋さんメーカーさん37社の大黒屋後援指導の会で御座います

関東関西選ばれたる有力商社 37社の大黒屋會メンバーが皆様へのプレゼント

今回の大黒屋会は37社の重役様方が当市において大黒屋会を開催申しますので其の記念と致しまして夏物奉仕品を全店に提供して頂きましたゼヒ御一覧下さいませ

奉仕品は当日各店、店頭店内発表申し上げます

記念奉仕として店内に特設売場が出来ました
平母店プリント 服地 50円 65円 75円均一

（どこの都市にも負けない品質とネダンを出す努力を致しております）